

事務事業調査

平成26年度

事業No	372	課	健康推進課	係	予防係	起案者	沓名美佳
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	休日夜間急病診療事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 2 安心な医療サービス 1 初期医療サービス		予算科目(会計)		一般会計				
			予算科目(款・項・目)		20-5-25				
			総合計画以外の計画						
			関連する総合計画の施策						
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの					
根拠法令	有	安城市休日夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例、安城市休日夜間急病診療所の管理及び運営に関する							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	夜間診療所について							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	昭和52年度		経過	37年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		急病の市民が			~になる		休日と平日夜間に応急診療が受けられる。	
事務事業の内容	休日、夜間に急病人が発生した場合、その応急診療を行うため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもとに診療を行います。 内科及び小児科の診療時間は、平日夜間（午後8時30分～午後10時）、土曜夜間（午後5時30分～午後9時30分）、休日（午前9時～正午、午後1時～午後5時、午後5時30分～午後9時30分）です。 歯科の診療時間は、休日（午前9時～正午、午後1時～午後5時）です。								
改善・対策の履歴	H17年度から休日夜間診療開始 H18年度から土曜夜間診療開始 H20年10月から歯科開設（休日昼間） H22年度から平日夜間診療開始 インフルエンザ流行前の小・中学校、幼・保育園への上手な受診方法のチラシ配布したり、市内医・歯科医院、薬局への休日夜間急病診療所のポスター配布を実施したりすることにより、市民への周知を図っています。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	70,651	68,123	74,317	74,501	73,455
財源計	66,871	64,973	71,167	71,351	70,305
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	220	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	58,210	53,699	56,000	61,266
	一般財源	8,661	11,274	15,167	9,865
受益者負担金	58,210	53,699	56,000	61,266	56,500
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	医師・歯科医師・薬剤師への出向依頼	見込	930.00	930.00	940.00	940.00
			実績	933.00	942.00	950.00	
	指標名 (単位)	依頼人数(人)	活動の総事業費 (千円)	44,587	44,599	46,379	
			活動にかかるコスト (千円)	47.79	47.35	48.82	
活動2	活動名 (活動内容)	臨時看護師等への出勤依頼	見込	1,770.00	1,770.00	1,530.00	1,530.00
			実績	1,737.00	1,662.00	1,510.00	
	指標名 (単位)	臨時看護師等の出勤人数(人)	活動の総事業費 (千円)	13,399	12,814	12,342	
			活動にかかるコスト (千円)	7.71	7.71	8.17	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	受診者数(人)			目標	7,300.00	7,300.00	7,300.00	7,500.00
				実績	7,866.00	7,327.00	7,920.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	7,500.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	平日夜間在宅当番医を廃止し、平成22年4月から休日夜間急病診療所で平日夜間診療を開始しました。そのため場所が一定となったことにより、利用しやすくなりました。一方でまずはかかりつけ医の受診を周知しているためか、受診者数の推移としては、あまり変化していませんでした。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・平成22年の平日夜間診療の開始に伴い、スタッフ（医師・薬剤師・看護師・事務員）の増員となりました。平成24年10月1日より平日夜間の看護師を2名から1名に減員したため、臨時職員実績は減少しました。インフルエンザ患者数が増加すると、受診者数が2から3倍となります。そのため、平成24年度は繁忙期の年末年始から2月まで、休日の午前中を医師二人体制とし、平成25年度は繁忙期の年末年始から2月まで、休日昼間を1日医師二人体制としました。よって事業費は増加しました。
成果	・広報・ホームページ掲載等、多くの機会を利用した情報提供により、市民への休日夜間診療開設が浸透してきました。 ・保健センター施設内に、受付時間等の内容を含むポスター掲示を行いました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
救急受診を含めた上手な受診方法の情報提供・啓発に努めます。かかりつけ医への診療時間内の受診をすすめ、軽度の救急の場合、まず休日夜間急病診療所を受診することを情報提供していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	休日夜間急病診療所での診療を継続します。また、救急受診等の情報提供・啓発により、適正な救急医療体制を確保し、市民の安心・安全を図っていきます。